陥入爪処置(ワイヤー法)について

治療の目的と治療の必要性

巻き爪・陥入爪に対して超弾性ワイヤーで矯正する治療法です。超弾性ワイヤーとはニッケル・チタン合金で出来ている形状記憶合金のワイヤーです。ワイヤーの元に戻ろうとする性質を利用し、陥入爪・巻き爪の治療に使用します。

治療の適応について

陥入爪及び湾曲爪(巻き爪)です。爪が親指の先から 2mm 以上伸びた状態で治療しますので、まずはそれまで爪を伸ばしていただく必要があります。治療前に爪を切ってしまい、短くなってしまった場合は治療が延期になることがあります。また、爪水虫で爪がもろくなっている状態や爪が厚い場合など、爪の状態によってはこの治療の適応にならないときもあります。

治療の方法

- 1)爪に穴をあけてワイヤーを通し、固定します。
- 2)ワイヤーで矯正した状態で 1~2 ヶ月爪を伸ばします。爪の伸びる速さは個人差があるので、患者様によっては 3~6 ヶ月爪を伸ばす必要があります。
- 3)爪は伸びるので2ヶ月に1回程度はワイヤーを付け替える必要があります。
- 4)ワイヤーは固定しますので、日常生活は特に支障はありません。
- 5)マニキュアもワイヤーの上から塗っていただいても問題ありません。

治療により期待される効果とリスク

治療により巻き爪が矯正され、爪が平らになります。爪の厚さやワイヤーで矯正していた期間によっては再発する場合もあります。

予想される合併症と必要な医療行為

爪が十分に伸びていないと、ワイヤーを爪に通す際にワイヤーで皮膚を傷つけてしまうことがあります。また、爪を長めにしていただくため、ストッキングや靴下に穴があいてしまうこともあります。 爪の状態(もろさ)によってはワイヤー装着中に爪が割れる、折れてワイヤーがとれてしまう、ワイヤー自体が折れてしまうことがあります。

また、ワイヤーによって爪が平らになってくると爪のかどやワイヤーの断端が隣の指に刺さって傷ついてしまうことがあるので、保護が必要になることがあります。

考えられる他の治療法(代替手段)とリスク

フェノール法、テープ法、ガター法があります。フェノール法とガター法は手術なので痛みが伴うこと、爪が細くなるリスク、再発するリスクがあります。テープ法は簡便ですが、効果が出るまでに時間がかかります。

治療を受けないことによる考えられる結果

症状が進行する可能性があります。

費用について(自費診療)

爪1枚の場合、材料費(ワイヤー代)として 4,400 円

診察料(再診料 792円)

処置料(爪 1 枚あたり)1,540円

ワイヤーを固定するための材料費などが含まれますので合計 6,732 円がかかります。

※この費用は今後変更になる可能性もあります。

セカンドオピニオン

他施設の医師に現在の病状や治療方針について、意見を求めることができます。その際は、必要な紹介状や資料を準備しますのでお申し出ください。

同意の撤回について

同意書を提出された後でも、お申し出があれば治療(検査)を中止することができます。その際は、 同意の撤回に関する文書を用意いたします。

ご不明な点やご心配なことがありましたら、診察の際に遠慮なく申し出ください。

ご予約・お問い合わせ

一般診療のご予約・変更(予約センター)

TEL: 0476-35-5576

(月曜日~土曜日 8:30~17:30 ※祝日は除く)

●その他のお問い合わせ TEL: 0476-35-5600 (代表)

超弾性ワイヤー式爪矯正治療法に関する同意書

国際医療福祉大学成田病院長 屬

/	量片	田田	事項	i >
\	ਜ π'.	ΗП	一 ・ルコ	_

- 1. はじめに
- 2. 現在の病態
- 3. 治療の目的と治療の必要性
- 4. 治療の適応について
- 5. 治療の方法
- 6. 治療により期待される効果とリスク
- 7. 予想される合併症と必要な医療行為

年 月 日 時

- 8. 考えられる他の治療法(代替手段)とリスク
- 9. 治療を受けないことによる考えられる結果
- 10. 費用について
- 11. セカンドオピニオン
- 12. 同意の撤回について

私は、 $\underline{@ACTIVEUSERNAME}$ 医師より、文書と口頭によって、私の診療のために行われる予定の**超弾性ワイヤー式爪矯正治療法**に関して、説明を受け、十分理解しました。

診療に必要であると判断しましたので、上記診療行為を受けることに同意します。

	患者署名	
	代諾者署名 (患者が未成年、署名が困難な場合、理解を得る 代諾者が署名する)	(続柄:) ことができない場合は
今回の治療について、	上記の項目を説明し、同意を取得しました。	
年 月	日 時	
@PATIENTFORMALSECT	ΓΙΟΝΝΑΜΕ 医師(署名)	
院	国	際医療福祉大学成田病